

標準委員会 システム安全専門部会 定期安全レビュー分科会
第 15 回 (P6Ph2SC15) 議事録

1. 日 時 2012年7月9日 (月) 13:00~16:30

2. 場 所 日本原子力技術協会 A・B会議室

3. 出席者 (敬称略)

(出席委員) 平野主査 (JNES)、成宮幹事 (関電)、伊藤委員 (JNES)、落合 (上野委員 (MRI) 代理)、倉本委員 (NEL)、安田 (左藤委員 (関電) 代理)、中村 (隆) 委員 (阪大)、中村 (武) 委員 (JAEA)、藤本委員 (JNES)、服部委員 (原電)、平川委員 (原技協)、渡辺 (哲) 委員 (中部電)、渡辺 (沖) 委員 (東電) (13名)

(欠席委員) 岡本副主査 (東大)、青山委員 (保安院) (2名)

(常時参加者) 勝木 (北陸電)、曾根 (東北電)、桜本 (東電)、名畑 (北海道電)、日渡 (電中研)、松浦 (四電)、森本 (中国電)、矢野 (原技協) (8名)

(傍聴者) 角田 (東電)、山下 (九電)、中川 (NEL)、黒瀬 (日本電気協会)、吉田 (電発) (5名)

4. 配付資料

P6Ph2SC15-1 第 14 回 PSR 分科会議事録 (案)

P6Ph2SC15-2-1 人事について (定期安全レビュー分科会)

P6Ph2SC15-2-2 定期安全レビュー分科会名簿

P6Ph2SC15-3 「最新の技術的知見」における海外事例等の今後の扱いについて

P6Ph2SC15-4 欧州各国でのプラント改善の取り組み状況

P6Ph2SC15-5-1 定期安全レビューにおける確率論的安全評価について

P6Ph2SC15-5-2 定期安全レビューにおける確率論的安全評価のあり方について

P6Ph2SC15-6 IAEA SAFETY GUIDE DS426 Draft7 訳その 2

5. 議事内容

議事に先立ち、開始時点で委員 15 名中 13 名が出席しており、分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。

(1) 前回議事録について (P6Ph2SC15-1)

成宮幹事より、前回議事録の紹介があり、承認された。

(2) 人事について (P6Ph2SC15-2-1、2)

成宮幹事より、以下の人事案件が紹介され、審議の結果、新委員の選任が承認された。また、退任委員の報告があった。

・ 常時参加者の承認【承認事項】

曾根 幸一（東北電力（株））

勝木 亮輔（北陸電力（株））

・ 退任常時参加者【報告事項】

小笠原 和徳（東北電力（株））

大畠 章（北陸電力（株））

(3) 「最新の技術的知見」における海外事例等の今後の扱いについて（P6Ph2SC15-3）

渡辺（沖）委員から、過去の PSR における海外事例等の反映方法および今後の扱いについて紹介があった。

- ・ 反映したものなどの有効性の評価に対する仕組みが一番重要にも関わらず、弱かった。
- ・ PSR の特徴を活かし、過去に評価したものを再評価するきっかけを与える体系を目指す。

(4) 欧州各国でのプラント改善の取り組み状況（P6Ph2SC15-4）

倉本委員から欧州各国の取り組み状況の調査結果について紹介があった。

- ・ 欧州では PSR において事業者と規制側でコミュニケーションが図られている。規制側からの提案もあるが、事業者の自主的活動として実施しているものを重視している。
- ・ 欧州ではなぜ継続的改善がうまく機能しているのか、インセンティブに着目して今後も継続議論する。

(5) 定期安全レビューにおける確率論的安全評価について（P6Ph2SC15-5-1、2）

成宮幹事および藤本委員より平成 19 年当時の PSR における PSA の概要等の紹介があった。

- ・ 改正後の炉規法における安全向上のための総合評価においては、PSA および評価期間について明確になっていない。
- ・ 日本版 FSAR では、何巡目か実施してきた段階で火災防護など、評価範囲が広がってくると思われる。

(6) IAEA SAFETY GUIDE DS426 Draft7 訳その 2 について（P6Ph2SC15-6）

倉本委員から IAEA SAFETY GUIDE DS426 Draft7 の要約について、前回からの引続き部分の紹介があった。

- ・ 今回は、IAEA DS426 Draft7 の 5 章、付録 I 及び付属文書の Safety Factor の 14 個のうち、前半の 7 個について確認した。
- ・ 次回は、Safety Factor の後半の 7 個について確認する。

- ・ ハザード解析については、ヨーロッパのストレステストにおいて、PSR での結果が記載されている。
- ・ PLM の占める割合が大きく、PLM との関係を整理する必要がある。

(7) その他

- ・ 次回、PSR 分科会日程について、9月18日(火)午後開催で仮決めとし別途連絡することとなった。
- ・ 議題は、「最新の技術的知見における評価方法の改善点」、「欧州各国でのプラント改善取組み状況およびインセンティブ」、「IAEA DS426 訳」。

以 上